

愛西市巡回バス運行検討委員会 会議録（概要）

会 議 名	平成 29 年度 第 1 回 愛西市巡回バス運行検討委員会
開 催 日 時	平成 29 年 12 月 14 日（木）午前 10 時 00 分から午前 11 時 45 分まで
開 催 場 所	愛西市役所南館 1 階 会議室 1 - 3 ・ 1 - 4
出 席 者	別紙のとおり
欠 席 者	橋本清吉、伊藤本章、石河和子
協 議 事 項 等	<p>1. 委嘱状の交付</p> <p>2. 自己紹介</p> <p>●協議事項</p> <p>3. 正副委員長の互選</p> <p>4. 巡回バスの運行について</p> <p>（1）昨年度までの経過</p> <p>（2）改訂後の状況について</p> <p>（3）今後の検討事項について</p> <p>5. その他</p>
公開／非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍 聴 人 の 数	1 人
会 議 資 料	<p>次第</p> <p>愛西市巡回バスの運行について（経緯）</p> <p>愛西市巡回バス乗車数・車両と走行距離</p> <p>（海南ルート）乗客集計（H28）（H29～）</p>
審 議 経 過	別紙のとおり

愛西市巡回バス運行検討委員会委員

役 職	氏 名	区 分	備 考
委 員 長	伊豆原 浩二	知識経験を有する者	大学教授
副委員長	伊藤 正憲	地域の実情に精通した者	佐屋地区
委 員	橋本 清吉	高齢者	佐屋地区
〃	水野 壽里	知識経験を有する者	佐屋地区
〃	横井 正男	公募委員	佐屋地区
〃	水谷 怜	地域の実情に精通した者	立田地区
〃	伊藤 典之	高齢者	立田地区
〃	渡邊 千鶴子	知識経験を有する者	立田地区
〃	永井 初子	公募委員	立田地区
〃	中野 義光	地域の実情に精通した者	八開地区
〃	岡本 千代子	女性	八開地区
〃	服部 愛子	知識経験を有する者	八開地区
〃	福田 道雄	公募委員	八開地区
〃	鬼頭 昭子	公募委員	八開地区
〃	伊藤 本章	地域の実情に精通した者	佐織地区
〃	石河 和子	女性	佐織地区
〃	梨本 嵩巳	知識経験を有する者	佐織地区

職務のために出席した職員

役 職	氏 名	備 考
立田支所長	神 田 和 昌	
八開支所長	佐 藤 三 吉	
佐織支所長	堀 田 豊	

事務局

氏 名	氏 名
伊 藤 長 利	鷺 尾 和 彦
青 木 万 亀 雄	伊 藤 靖 幸
加 藤 勉	

<p>委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・委員長あいさつ <p>ありがとうございます。</p> <p>愛西市は自然の豊かな所で、その中でコミュニティバスが走っています。随分前からこの地域はバスサービスが行われていて、住民の皆さんの足になっているのかなという感じがしております。ただ少しご利用の方が少ないかなとずっと感じております。</p> <p>どうやったらうまく利用できるだろうか。車が使えなくなったらバスに乗ると言う方がいて、私がいつも返す言葉が「実は車は最後の手段。元気なうちに乗れるようにしておかないと乗れなくなる」ということです。ですからどうやったらうまく使えるか。経験から色々な使い方ができるということをもみんなでお話しいただいて、それを市民の皆さんに発信する。一回使ってみるとこんな楽しいことがあるというところを踏まえて、市民の皆さんに発信していく。そうすると「私も使ってみようかな」と思えるようになると思います。バスの利用者数が少ないという話だと巡回バスに乗ることが面白くないのかと思われます。色んなご意見を市民の皆さんに発信できることができたなら大変よいと思っておりますのでよろしく申し上げます。</p> <p style="text-align: center;">— 市長、公務都合により退席 —</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以降、委員長が議事進行 <p>4. 巡回バスの運行について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から（１）から（３）までを一括説明
<p>事務局</p>	<p>（１）昨年度までの経過について</p> <p>「愛西市巡回バスの運行について（経緯）」の資料に基づき、これまでの巡回バスの運行の経緯について説明</p> <p>（２）の改定後の状況について</p> <p>「愛西市巡回バス乗車数」の資料に基づき、平成２８年度の利用者の報告および、平成２７年度との比較について説明</p> <p>「(海南ルート) 乗客集計 (H28) (H29～)」の資料に基づき、海南病院ルートの利用者集計の説明</p> <p>（３）今後の検討事項について</p> <p>利用者の数を判断材料とし、利用実績を基に平成２６年に大幅な改正を行った結果、徐々に増加してきたため、次回の改正は基本的に現行のルートを基により使いやすく、できるだけ多くの方に利用してもらえるように改善していきたい。</p> <p>試験的に運行している海南病院ルートも好評であるため、本運行として今</p>

委員	<p>後も継続していく方針。</p> <p>委員の方には上記のことを含め、全体的な目線でご検討願いたい。</p> <p>・委員意見</p> <p>委員長も言われたように、バスを日頃から利用しないとすぐに乗れない。今日も巡回バスで来る予定でいたが、行きは乗れても帰りは時間的に都合が悪いため車で来た。乗り継ぎがあつて便利な所と、こうした方がいいという所を非常に感じ、特に立田地区は停留所と次の停留所の間隔が非常に長いので、歩こうにも歩けない。立田地区は広い割に人口が少ないため、利用したくても利用できない人が非常に多く、そういう点で見直しをしていくのではないかと思う。</p> <p>過去にも議論されている津島駅の乗り入れについて、立田地区は巡回バスが唯一の公共交通機関であり、改善できると乗る人も増えるのではないか。また、津島市民病院にも乗り入れして欲しい。</p> <p>ルートの中には四会あたりを通る地域があるので、その辺りにバス停を1つ設けるといいのではないか。それが無理なら手を上げて乗せてもらう方法も考えたらいいと思う。</p>
委員	<p>今非常に参考になる意見が出たと思うが、利用者の実態を掴むための具体的な提案が事務局からは無かった。実態を掴む方法を検討委員会で議論するのであれば、例えば地域住民に対するアンケートを再度実施したり、地区ごとでワークショップを開催する等して、要望を集めるような方法を決めないといけない。委員の意見だけでその地域の皆さんの意見を全て集約しているのかと言われると責任が持てない部分もあるため、事務局側で意見集約の方法を考えているのであれば提示してもらいたい。私も個人的な改善事項はたくさん持っている。</p>
事務局	<p>ワークショップは平成26年の改訂の前に1回実施し、その中でいただいた意見が全てではないものの参考にさせていただき、店舗の乗り入れ等の改善を行ってきました。今後の意見集約の方法については、現時点ではアンケートによる方法は考えてはませんが、ふれあい箱によるご意見も中にはございますので、そういった部分も参考に考えていけたらと思います。</p>
委員長	<p>今のご意見は私も気になっておまして、使い方を考えるということはまた議論すればいいとは思いますが、現在どういう使い方がされているかという実態を把握することです。人数が増えればいいという話だけではなく、良くしていくには、実際に利用している人の声を聞かないといけません。職員がバスに乗って聞き取りしている所もたくさんあります。あるいは委員が乗って聞くこともできます。こういうことはお金をかけてやるのではなく、むしろできる範囲で皆さんの声をお聞きしていくということが必要ですので、事務局側で企画して、あるいはこのメンバーの中で「私も一緒に乗って</p>

委員	<p>聞く」という方がいれば、一緒に乗っていただきたいと思います。私はそういうやり方で十分だと思っています。だから実態の把握もどこで乗られてどこで降りてどこへ行かれて、どういう時間帯に使っていて何時頃が多く乗っていて何時頃は少なくてというようなことも含めて、実態把握と日頃からご利用になっている皆さんの意見を聞くということを、来年度のいい時期に企画していけたらと思います。</p> <p>委員長がお話しされた、利用者のニーズを捉えることは大変必要だと思う。私は前回2年の任期の間行き、様々な形で全ルートを利用した。</p> <p>我々も含めて高齢者はこれから自力では動けなくなって免許の返納をする時期に来ているため、長期低落傾向だった乗客数は徐々に回復している。過去の市民会議では15万人を目標にしていたが、乗車される方のニーズを捉えてPRすればもっと乗客が増える。典型的な例が海南病院への乗客数だが、当初は少なかったのはPR不足か、市民に認知されなかったことがある。最近では認知をされて、積極的に利用されている方が増えてこれからも増えてきているという面ではこの検討委員会がどんどん発信することが必要と思うし、その一翼を委員の1人として担っていければいいと思う。</p> <p>もう1つは将来の事だが、無人運行バスやタクシーが東京オリンピックにはもう実現化されると言っている。沖縄ではすでに無人バスの実証実験も始まっている。県下でも各地で実証実験がされているので、この委員でグループを組んで見に行くような積極的な連携をしていく必要があると思う。</p>
委員長	<p>自動運転にはルールの問題があり、それを私たちは「社会的受容性」という言葉で表現していますが、皆さんの社会の中で受け入れてもらえるような仕組みはなかなか難しいという話が出てきております。いずれにしても技術はどんどん進むことになると思いますので、それはまたその都度皆さんに情報提供してお話をしていこうと思います。</p> <p>もう1つのルート調査のお話は、実際にどういう使い方をされているかということはみんなで見つけないといけない気がしますので、実施するほうがいいと思いました。</p>
委員	<p>今の関連で事務局に聞きたいが、巡回バスを利用している時に、運転手が乗降を停留所ごとにチェックしている気がするが、実際それをしているのか。少なくとも利用者数については出せると思っているので、停留所ごとの数字であれば、更に詳しいデータを持っているのではないかとと思っているので、もし公開できるのであれば、私も表を作って協力することも可能だと思っている。</p> <p>意見集約の話は非常にいいことなので、前向きに検討してもらいたい。例えば広報にコミュニティバスに対する意見・要望等を集約することをアピールすれば、関心をもった方は必ず広報に対応した回答をしていただけて、色々な意見が集約されるのではないと思う。ただ事務局も過剰なサービスに</p>

	<p>対する期待や金銭的な問題等で、意見集約をすることがかえって全体に対する混乱を与えるようなことも心配しているかもしれないが、できることとできないことがはっきりあると思う。今のサービスを2倍にしろということはできないから、できる範囲で何ができるかということを検討するために幅広く意見集約をしてもらいたい。その中でできることとできないことをこの検討委員会又は事務局側で提案をしてもらえれば、さらにより良いものができるのではないかと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>私も現在海南病院へ行くルートを利用しているが、八開地区から市役所までのバスが無い。だから市役所まで車で来てからバスを利用しているが、車に乗れなくなったら、バスも利用できなくなるので、ぜひ市役所までのルートを作ってもらいたい。</p> <p>海南病院へ行く便利なバスがあるという話をしてもほとんどの方が知らない。だからもう少しPRして、皆さんに利用されるといいと思う。区長さんも町内にいらっしゃるので、区の寄り合いでお話ししていただいて、希望等も集めていただけたら、アンケートの利用もできると思われる。</p>
<p>委員</p>	<p>八開のある地区に26年までバス停があったが、私の孫たちのグループ5～6人が、友達の家へ行くために何時のバスを利用したら、バスの運転手が「帰りはここを通るのは何時だから、この時間に間に合うように帰りなさいね」と教えてもらったからすごく良かったという話を聞いたことがあった。今は私達の年齢が高くなってきたので、子ども達が調べているように、利用の仕方を勉強しないといけないと思った。</p>
<p>委員</p>	<p>他の委員が言ったように、私達で乗ってみることはいいと思う。それからバスが目立たなくてよく分からないという意見があったので、絵を募集してラッピングして目立つようなバスにしたらいいのではないか。また側面にコースのルートを貼ってもらうと分かりやすいのでお願いしたい。</p>
<p>委員長</p>	<p>運転手は乗降のカウントを行っていますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>バス停ごとの乗降客数については数値として把握をしておりますので、皆さんに情報提供させていただきたいと思っております。</p>
<p>委員長</p>	<p>バス停の乗降者数さえ分かればデータも作れますので、お願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>利用されたバス停が無くなったという話は、前回の停留所の運行ルートの改訂の折に、利用の少なかった箇所は廃止にした経緯がある。利用しないとバス停も無くなっていくという実態であるため、ぜひこれからはPRに努めてもらい、その結果多くの人が乗ればバス停を増やすということは何ら支障ないと思う。今回の巡回バス運行検討委員会には、実際に利用されている方</p>

<p>委員長</p>	<p>が入っていないため、次回もし企画される場合は、利用されている方を委員として入れてもらえると、より利用者の声が聞けるのではないかと思います。</p> <p>地域で話し合った時に結果を取り寄せていただく方法はあると思う。それは行政がやらなくても、自治会の方達で集まって聞いたりする等、色々やり方があると思うし、回覧板を使えば上手に意見が聞ける方策があると思いますから、企画をしてもらいたい。</p> <p>みんなで乗って直接聞く方法が一番簡単かもしれない。利用状況も含めて企画をしていければいいと思います。</p> <p>フリー乗降は公安委員会の承認が必要です。有料だときっちりやらないといけないですが、愛西市は無料だからこの辺りにバス停を置くという話もできると思いますし、色々な話ができると思いますので、ぜひ地域の皆様のご意見を集約できるような形を作れるといいと思います</p> <p>それから心配なことが、高齢者用のバスと思われると子供が乗らないことです。理解をしていただいていないこともあります。子供が乗っていれば他の子供達も乗ってみたいという話になると思います。</p>
<p>委員</p>	<p>本来の目的は運行改正で、平成31年4月ぐらいを目標に考えていると思うが、ルートも時間も時刻表も変えることなく、すぐにできるサービス改善の方法もあると考えていて、実際に今乗っていて改善して欲しいところもある。停留所ボタンが路線バスと同じように設置してあるが、いつも乗っている人はこの停留所の次が目的地だと理解しているためボタンを押せる。しかし車内案内が無いと、初めて利用する人にとっては、私が降りたい停留所は「〇〇」だが、今の停留所がその前の停留所なのかどうか分からない。運転手にアナウンスしてもらっても大変だと思うので、簡便な方法で、次の停留所は「〇〇」という案内表示ができれば、停止ボタンが押しやすいと思っており、今の運行の中で少し考えれば分かりやすく使いやすい方法になると思っている。</p> <p>利用促進という意味では11月3日に愛西市全域で文化祭行事が行われて、この日は祭日扱いであるため本来は運行しない日だったが、広報も含めてPRしてくれた。祭日でも住民の方が利用する必要性があるため運行するという認識で決断したと思うが、非常にいい取り組みだと思っていて、もし当日の利用者数が分かればそれも参考にしたい。住民の方々が使っていただく機会を行政として積極的に作っていくと、巡回バスを使って参加できるような時間帯にイベントをセットする等の色々な取り組みができると思う。</p>
<p>委員長</p>	<p>車内放送の案内はまた考えて、不安感を取り除く体制づくりを取らなければいけない。</p> <p>それから祭日の運行データはありますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>あります。</p>

委員長	<p>あるようですので分析しておくとういと思ひます。市のイベントは年度で決まってくるということが考えられますから、この日は運行するということを入イベントポスターの中に入れてもらう等、色々なやり方があると思ひます。</p>
委員	<p>委員として色々基本的なことを知らない部分が多い。</p> <p>イベントの臨時巡回バスに乗る人のうち、イベント当事者がどれだけ承知しているかは難しいと思ふ。</p> <p>もう一つは、28年度に115,447人という数字を見ると少なくないのではないように思えるが、計算すると利用者数の少ないバスであることが実態である。ただ、実態と私達の感覚的な問題を勉強させていただきたい。実際にこの数字を見ると11万5千人乗っているのでガラガラではない。愛西市民は6万で、年間2回は乗る計算になる。ただこれが実際にどうなのか、勉強させていただきたい。</p> <p>この委員会も限りある時間・日数であるため、ゆくゆくはテーマを決めてそれを重点的に絞って提言ができればいいと思ふ。</p>
委員	<p>乗降客については佐織地区・佐屋地区含めて福祉センターでの利用が大半だと思ふ。そういう面ではなかなか若い人が乗りにくい。この委員会も何期かやって経験したが、事務局の人事異動でなかなか一貫した形でできていない思いをしていた。今回新しいメンバーがかなりいるので、基本的に公共交通のあり方やコミュニティ活動のあり方や、これからどうすべきなのかという基本的な議論を勉強していくことが必要だと思ふ。また実態を調べ直して、この委員会の中で色々案を決めていく訳だが、それが一人歩きしてはいけないので、ぜひそういう形にして欲しい。</p> <p>また、老人会の代表の方とか婦人会の代表の方、自治会の代表の方が出席しているので、ぜひそういう場へ委員や委員長が出向いて説明すれば非常にプラスになると思ふ。十何名のメンバーでやる訳だから、統一的なテーマで集中的に議論をするということも必要と思ふが、この委員会はオフィシャルの委員会であり当然経費が付いて回るので、提案として、委員の方の合意が得られれば、無償でやる会議も必要ではないかと思ふ。</p>
委員	<p>乗りたくてもバス停までが遠くて乗れないので、その辺りを考えてもらいたい。自分は目が悪くなって初めてバスのありがたさが分かったが、そのバスに乗れないことがつらい。以前役員4人で乗ったことがあるが、利用する人は毎回利用しているが、私達みたいに時々利用したいと思っても利用できず、それでバス停が無くなってしまったことも不便なので考えてもらいたい。</p>
委員長	<p>費用弁償の話が広がってしまうとなかなか会議が開けないかもしれせん。ただ私が思うのは、少人数で行うことも可能だと思ひますので、スケジュールを合わせてやる方法でもいいと思ひます。特に会議の費用はなくてよいという方がお見えになれば、みんなで話し合えばいいと思ひます。</p>

	<p>それからコミュニティバスは、総務だけでなく福祉や教育や環境部局とも関連があります。だから市内の情報が伝わっていないとうまくいきませんので、今日の意見は教育や福祉にもご意見があったことを伝えていただきたい。使いたいのに使えない事情は身体に障害をお持ちの方にある訳で、そういう部分をどう対応するかを議論していかなければいけないと思います。正式な会議ではテーマを絞っていきたいと思います。</p> <p>その他見学等の企画をする時には、都合がつく方だけでいいと思いますので、この会の持ち方について事務局と相談をしたいと思います。</p>
委員	<p>利用者を増やすには、やはり市民が体験するイベントを日曜や祝日のバスが動いていない日に企画してはどうか。</p>
委員長	<p>ただ、日曜祝日は運行をしない契約だとできませんので、その辺りを事業者と交渉できるかどうかだと思います。</p>
委員	<p>昔バス停があったところに今は無いということはいかに使っていないかということであるが、PRが非常に少ない気がしている。</p>
委員	<p>市役所へ行くルートは分かるものの、例えば立田地区から市役所を經由して海南病院へ行くには何時に立田のバスに乗ればいいのかこの時刻表では分からない。このルートを使うと海南病院や市役所に何時に到着するということが簡単に分かる方法を、主だったルートだけでも知らせるような形を取れるとありがたい。</p>
委員長	<p>時刻表だけでは字も小さく見えないぐらいですから、こんなふうに乗れるというようなコミュニケーションを取らないといけません。行政側から一方的に情報を流すだけでは分かりにくいと思います。その辺りも含めてみんなですれば利用者に分かってもらえるかを考えていきたいと思います。</p>
委員	<p>巡回バスは誰も乗っていないバスなのかという感じで受け止めていた。それから勉強をしないといけないと感じたので、委員の皆さんと勉強をしながら目的を決めて、皆さんがまずできるようなことを近づけたいと思った。また、無償で参加する時は私も参加させていただきたい。</p>
委員	<p>このバスが運行を始める時から委員としてやっていたが、昔は名鉄バスが津島から八開地区の給父まで走っていたので、津島の駅まで巡回バスが決まった時間に走ると便利ではないかと思う。この巡回バスは利用しても次にバスが来る間隔が開き過ぎるため、行ったら行きっ放しのように感じてしまい、結局はそのバスを利用するということが無くなってしまう。そのため利用者が無いから本数が少なくなり、本数が少なくなると、利用することが難しくなっている気がしている。名鉄バスが走っていた頃は出勤等でバスを使うこ</p>

	<p>とが通例であったが、バスが無くなってしまったことで車に移行してしまったような気がしているので、難しいとは思いますがもう少し本数が増えると利用価値が出てくると思われる。</p>
<p>委員長</p>	<p>これが市の巡回バスの辛いところでありまして、発言の通りであります、その方法ではお金を結構使わないとできない仕組みなので、どうしていくかを整理する必要があるのだらうと思います。また今話を踏まえて少しみんな議論したいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>佐屋地区の佐屋町には2箇所も停留所があって好評であり、苦情は一度も聞いたことがない。</p>
<p>委員</p>	<p>先ほど事務局から検討方法について説明があり、現行の運行を基本に改善するという提案だったが、よく考えてみると本当にそれでいいのか。ダイヤの問題を真剣に考えるのであれば、今の運行形態から車両を2台にした時に市の負担はどれだけ上がり、行政サービスはどれだけ向上するのか等の基本的な議論をせず、色々な要望を取っているだけのような気がしてならない。だから事務局として今回の見直しの方針を明確にしてもらえれば、おのずとその結論も出てくると思う。</p> <p>津島駅や津島市民病院の乗り入れは従来からある重要な課題であり、もしやろうとすれば、当然津島市との調整等も必要になってくる訳であるが、不可能ではない。ただそれをやるためには、現行のバス車両数では回っていかないことになるので、それをするためにどれだけ金額的な負担が増えるのか。あるいはそれをするによって今保たれているサービスが削られることもあると思うが、その基本となる行政サービスの水準を検討会の中で決められるのか分からないが、事務局としてその辺りをはっきりしたほうが議論もスムーズに行くので検討してもらいたい。</p>
<p>委員長</p>	<p>今の意見は当然として、これから次のテーマを決めてやりましょうと申し上げましたが、前提条件をしっかりとっておかなければなりません。経費がいくらかかり、これから増やせるのかをあいさつのところで言いましたが、お金をどこまで使えるかを含めてやっていくべきだと思います。事務局にお願いしますが、現在経費がいくらあって、これだけ使って、どうなっているのかは分からないところがありますので、整理した上でテーマを作っていきたいと思います。</p> <p>先ほど11万が多いという発言に驚きましたが、無料でも11万人しか利用していないということです。尾張旭は今年20万人を突破しました。1回100円ですが、20万を突破している。みよしも1回100円で、人口も愛西市と同じぐらいだと思いますが、年間30万人を超えております。だから一度無料にして走らせた場合にそれが最大の需要であると言ったことがあります。しかし無料であっても11万人だとするとかなり少ないです。先ほ</p>

ど意見があったバスの乗り降りの表示が分かりにくいということは、常に乗っている方が多く、日曜祝日が無いとすると、250日ぐらいで10万人だとするとおそらくひと月あたり400人もいないです。だから1本に1便だと何人くらいだと思います。ひょっとすると皆さんはもう無料に慣れてしまって、車に乗れない人が乗ればいいという感覚が染み付いてしまったのではないかという感じもします。無料で走っているところは本当に少なく、経費がそのまま経費となる訳です。そこも含めて、みんなで乗ったら経費が役に立つ。みんなで利用したからこそ、その公共的な投資が役に立つのです。みんなが利用しないと無駄な投資に見えるのです。そういう視点でないと、利用者の少ないバスを走らせているから無駄だという話になることが無駄な話になってしまいます。本来皆さんが利用していただけるようにおそらく行政は考えたと思うが、時代と共に需要の状況や利用者の年代が変わってくるということになります。

先ほど経緯を聞いていて、平成26年にバス停を変更してから3年も見直ししていないのかと思いました。こういうことは毎年見直ししなければいけないのです。毎年少しでも良くするためにどうすべきなのかをみんなで議論しないと、それで需要が少し増えたからいいという話は意味が無いと思います。バスを使ってもらって初めて生きるということをみんなで議論して、バス停を増やすことだと思います。バス停を増やすことは若干経費がかかりますが、本数を増やすとなるとこれは経費に直接影響します。今どれだけのお金を使っているのかも含めて、バスのサービスを上げるとなると、かなり出費を覚悟しないといけないと思います。そういう部分も含めて、前提条件を整理した上でテーマを決めたいと思います。

運行していくにはどうしたら上手くやれるかを、バスの運転手から直接聞くこともやればよいと思います。小さなサービスでも好評になります。だからお金をかけなくてもなるべく小さなことでいいから、利用者が使いやすい仕組みをみんなで考えて議論していくことはすごく大切だと思います。ぜひ会議の時だけ意見があって、会議がない時は意見無しということではなく、気が付いた時にメモを取っておいて、事務局に指摘をする等して知恵を出し合っていきたいと思います。

次回からはテーマを決めて前提条件も出せるようにして、資料も作ってもらって議論をしたいと思いますのでよろしくお願いします。

5. その他

事務局からの連絡はなし。